

編集後記

昨年末の「年越し派遣村」開設から1年が経過しました。不況、雇用不安はますます深刻化しています。完全失業率は5%台となり、完全失業者数は300万人を超えました。そのような中で裁判員制度がスタートし、政権交代が起こり、さまざまな変化（チェンジ）がありました。本学での大きな変化といえば、やはり4月に中村慶久新学長をお迎えしたことでしょう。

変化は新しい始まりです。それゆえ人々は変化に願いを込めます。より良い方向に進みますようにと。新たなスタートに向けて『総合政策』第11巻第1号をお届けいたします。

（岡田寛史）